

■遺跡出土品を中央公民館に展示

(教育委員会)

圏央道建設に伴い、(財)茨城県教育財団による遺跡の発掘調査がなされ、多くの成果を得ることができました。

展示される出土品等は町の歴史を考える上で極めて意義深いものがありますので、ぜひご覧ください。

○展示期間

7月15日(火)から31日(休)

○展示会場

中央公民館 1階ホール

○遺跡名

- ・桜井前遺跡
- ・土塔貝塚
- ・瀬沼遺跡
- ・同所新田遺跡

○お問い合わせ

教育委員会 ☎(84)1460



思いやりの心で明るい社会を

相手を想うことば

五霞中学校3年生の作文

学校などで悲しい言葉がよく聴こえてきます。私も今までに一度は言ったことある言葉です。

例えば「死ね」が挙げられます。その他にも、「消えろ」「キモイ」などが聴こえてくる時があります。私も含めて、そういう言葉を使ってしまう人は、相手の気持ちを考えられない最悪な人だと思います。相手のことを考えない人は、自分勝手に自己中心的な人です。その言葉を使ってしまった人は、相手のことを考えずに、自分のことばかり考えている人です。傷付けると知らずに、平気でその言葉を言ってしまふ。「これ言ったら傷つくかな?」と使ってしまう前に止まって考えることが出来る人は周りから信頼される人です。

私は、大切な友達を傷付けて

しまったことがあります。言葉を出す前に考えることが出来ませんでした。私は冗談のつもりでその言葉を言ってしまいました。そのとき、自分は冗談で言った言葉でも、傷付けてしまったことがあると気付かされました。その友達と今まで積みあげてきたこと、信頼が一瞬で崩れてしまいました。私は取り返しのつかないことをしてしまったこと、すごく後悔をし反省しました。もう、友達を悲しませない。辛い思いをさせない。と心の中で決めました。その日から、私は言葉を出す前に考えるようにしています。それでも言ってしまうときがあります。そのときは、すぐ謝っています。今でも、言ってしまったとき、反省しています。まだ周りの人から信頼されるような人間になれません。ですから、周りから信頼され、愛される人になりたいと思います。

傷付けてしまった人は、それなりに反省し、後悔しています。傷つけてしまった人はその人なりに苦しい思いをしています。しかし、傷ついた人は、もっと苦しい思いをしています。私は、今まで傷つけてしまったこともあるけど、傷ついたこともあるのでよく気持ちがわかります。傷ついたとき、私は、言われた言葉が頭の中でぐるぐる回っていて、だんだん気持ち悪くなってしまうました。クラスメイトに会うのも嫌で、教室に入るのも学校にいるのも嫌でした。けれど友達がやさしく接してくれたので、時間が経つにつれて、苦しい思いが和らいでいきました。あのときは、苦しくて、辛くて、何もかもが嫌で、自分を追いつめていました。魂の抜けたような私を心配してくれる人がいました。ただ「大丈夫?」という一言が涙が出るほど嬉しかったです。こんな思いを友達にさせてはいけなと思います。傷付く人、傷付けた人の気持ちが私はわかります。

言葉は喜ばせたり、楽しめたり良いことに使われます。けれど、悲しませたり、傷付けてしまうことにも使われてしまいます。言葉には、天使のような言葉があり、悪魔のような言葉もあります。私たちは、それを、使い分けなくてはけません。そして、言葉の意味を理解しなくてはなりません。相手の気持ちを考えることは難しいことだと思います。相手が「何を考えているのか」「何をしたいのか」それは本人にしかわからないことです。しかし、何を考えているのかわからなくても、人には、言っていないことと悪いことがあります。それを、しっかりと区別して、けじめがついている人は人として素晴らしいと思います。

私は、そんな素晴らしい人とはほど遠い人間です。でも、いつかそんな素晴らしい人間になりたい。そうなれるように、普段の生活から、相手の立場に立って考えることを忘れずに周りに目を向けていきます。私は周りに愛される人間を目標に生活していきたいと考えています。

※人権・同和教育指導資料集「なかま」二十五集より

